

## 株主メモ STOCKHOLDER MEMO

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当：毎年3月31日 中間配当を実施する場合：毎年9月30日
株主名簿 管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により行います。 但し、電子公告を行うことができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、官報に掲載して公告します。 なお、ホームページアドレスは次の通りです。 <a href="https://www.snt.co.jp">https://www.snt.co.jp</a>
単元株式数	100株
上場取引所	東京証券取引所 スタンダード市場

## ホームページ

当社はホームページを重要な情報発信源のひとつとして認識しており、株主・投資家の皆様の理解を助けると判断した決算情報等をタイムリーに掲載しております。ぜひ、ご活用下さい。

<https://www.snt.co.jp>



## お知らせ

### 住所変更、単元未満株式の 買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出下さい。  
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出下さい。

### 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出下さい。

### 見通しに関する注意事項

本冊子に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が公表時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知お願います。

# SNT

## 第94期 中間報告書

2024年4月1日 ▶ 2024年9月30日

DILIGENTLY  
PROCEEDING  
TOWARDS  
THE FUTURE

## 株式会社シンニッタン

証券コード：6319

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。第94期中間報告書をお届けするにあたり、皆様にご挨拶申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用の改善や賃上げの動きに加え、ペントアップ需要の顕在化などに支えられ、緩やかに回復しています。またインバウンドを含めた人流と消費動向は所謂コロナ禍前の状態に回帰しつつあります。一方景気については、長引く人手不足、物価上昇、中東情勢や中国経済の先行き懸念といったマイナス要因による足踏みも見られ、一進一退の動向の中で特に海外景気の下振れに伴う下押しリスクが懸念されています。

当社グループの業績においては、牽引していた建設機械産業向け鍛造品の需要がピークを越したことにより、業績見通しが弱含みとなっております。自動車産業向け鍛造品に関しては、長期間にわたり半導体不足の影響を受けていた自動車生産活動の回復効果が、徐々にではありますが当社グループの受注改善につながったものの、一部取引先における固有の事情等により受注が先送りとなる事象が生じています。また、ウクライナ情勢等を受けた資源価格、電力をはじめとしたエネルギー価格、労務費、運送費の上昇等の製品価格への反映について鋭意交渉を進めておりますが、妥結までの過程において一部途上にあること、さらにタイ国におけるピックアップトラックの販売不振が収益回復への足かせとなっております。

当連結会計年度後半には、経営環境におけるネガティブな要因が緩和され、一部取引先からの受注先送り収束に伴う増産要請が見込まれるなど、当社グループの業績は徐々に改善して行くものと予想しておりますが、当初想定以上に経営環境が悪化しているためこれまでの業績進捗の遅れを挽回することは厳しい状況となっております。

このような状況下、当社グループの当中間連結会計期間の売上高は、主力の鍛造事業で販売重量が落ち込んだことにより、前中間連結会計期間比19億46百万円減少の91億96百万円となりました。利益については、主に鍛造事業

代表取締役社長

平山 泰行

Yasuyuki Hirayama



における受注減少に伴う生産効率の低下が影響し、営業損失が1億55百万円（前中間連結会計期間は2億95百万円の利益）、経常利益は66百万円（同4億43百万円の利益）と前中間連結会計期間の水準を下回りました。前中間連結会計期間には特別利益として投資有価証券売却益5億20百万円を計上しましたが、当中間連結会計期間には特別利益の計上は無く、親会社株主に帰属する中間純損失は1億16百万円（同7億9百万円の利益）となりました。セグメントの業績は、次のとおりです。

当社グループの主要事業である鍛造事業においては、グループ各社の販売重量が減少したことにより、売上高は前中間連結会計期間比20億12百万円減少の76億4百万円となりました。セグメント利益は、受注減少に伴う生産効率

の悪化が原価率上昇を招き1億91百万円の損失（前中間連結会計期間は1億87百万円の利益）となりました。各分野の状況は以下のとおりです。

- ①自動車産業向け  
鍛造品の主要マーケットである国内自動車産業の海外生産及び部品現地調達拡大により、同産業に関わる鍛造品の国内需要は減少傾向にあります。長引く新型コロナウイルス感染症の自動車生産活動への影響は看過できる水準まで軽減されたと考えられますが、取引先固有の事情により受注先送りとなる事象が生じており、操業の回復度合いは抑制されております。  
タイ国の子会社においては、電力などエネルギー価格高騰に関し日本に比べて製品販売価格への反映が難しいものの、一部取引先との交渉が緒に就き、今後の状況改善が見込まれるようになりました。しかしながら、同国政策金利の上昇を伴った金融引締めの影響でピックアップトラックに対する消費者の購買力低下に直面していること等厳しい経営環境が続いており、事業計画自体にそのリスクを織込みながらも想定を超える苦戦を強いられ、収益力の低下を招いております。
- ②建設機械産業向け  
建設機械産業は、建設機械ならびに鉱山機械の市況がピークを越し下降局面を迎えましたが、事業計画にはこの影響を織込んでおり、計画比堅調な業績推移を示しております。
- ③その他産業向け  
建築資材や工作機械部品など、自動車関連以外のマーケットでの受注に努めておりますが、取引先における在庫調整等に伴い、一部受注が先送りとなる事象が生じています。

建機事業（仮設機材の販売・リース等）は、首都圏のみならず地方における再開発事業や社会インフラの改修整備等が堅調なことから、仮設機材の需要が安定基調にありま

した。売上高は前中間連結会計期間比1億29百万円増加の11億8百万円ながら、やや利幅の薄くなる販売商品構成が影響し、セグメント利益は同46百万円減少の46百万円となりました。

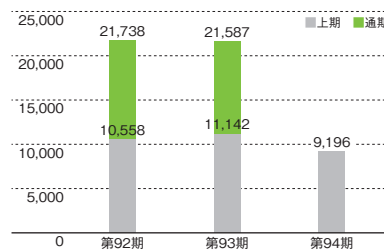
物流事業（金属製パレットの製造販売等）は、当中間連結会計期間においても引続き取引数量が獲られず、業績は当初想定に達しませんでした。この結果、売上高は前中間連結会計期間比59百万円減少の3億77百万円、セグメント損失は39百万円（前中間連結会計期間は11百万円の損失）となりました。

不動産事業の売上高は、入居状況が堅調に推移し、前中間連結会計期間比微減の1億6百万円、セグメント利益は同1百万円減少の64百万円と前中間連結会計期間水準を維持しました。

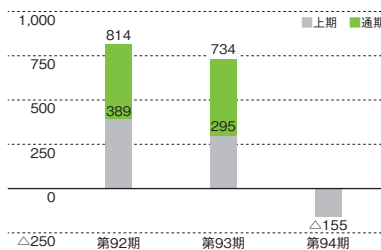
2025年3月期の業績は、これまで業績を牽引してきた建設機械産業向け鍛造部品の受注低下、タイ国の金利政策に伴うピックアップトラックの販売不振など、厳しい経営環境の影響もあり当初計画に比して下方遷移しておりますが、エネルギー費用や労務費などの製品販売価格への適正な反映効果に加え、自助努力による生産性の向上、設備及び人的資本投資の選択と集中に主眼を置いた事業改善に取り組むことで業績改善を図るべく、グループ一丸となって邁進いたします。またこのような状況の下、当社グループとしては2026年3月期より新たな経営計画をスタートさせるべく、着手しております。当該計画の中では、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応ならびにサステナビリティへの具体的取組を施策の柱に据え、各事業での業績向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

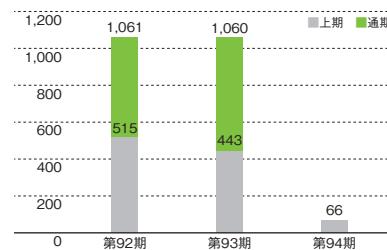
## 売上高 (単位：百万円)



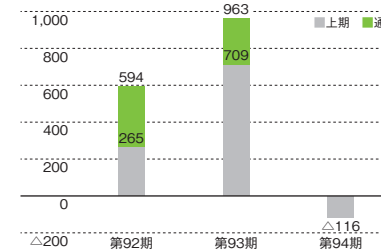
## 営業利益又は営業損失 (△) (単位：百万円)



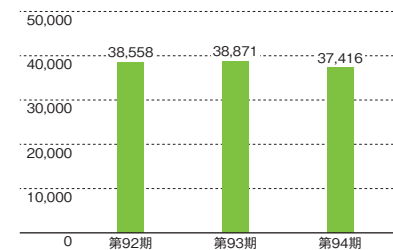
## 経常利益 (単位：百万円)



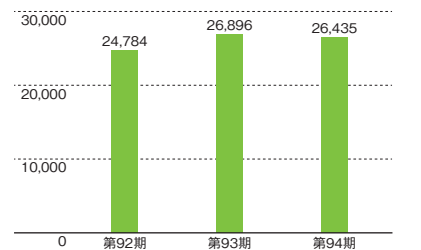
## 親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失 (△) (単位：百万円)



## 総資産 (単位：百万円)

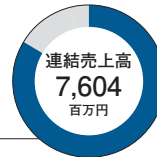


## 純資産 (単位：百万円)



鍛造事業

自動車、建設機械をはじめとした各種産業機械のクリティカルパーツを高い信頼性で保証するシンニッタンの鍛造品



創業以来、技術の蓄積に努めるとともに最新の設備を導入し、つねに信頼性に優れ、均一な鍛造部品を生産販売してきました。今後も高性能化、軽量化、高精度化等の時代のニーズを先取りした高品質鍛造品を提供してまいります。

さらに、新しい価値を創造するため、機械加工部品及びそのユニット化への展開、鍛造プラントの設計、エンジニアリング及び施工等の拡充を図っています。

鍛造製品

株式会社シンニタン



品名 アクスルチューブ  
車種・ユニット  
小型トラック リアアクスル

中部鍛工株式会社



品名 トラックリンク  
車種・ユニット  
大型ブルドーザー 履帯

株式会社セイタン



品名 ハイボイドギア  
車種・ユニット  
乗用車 デファレンシャル

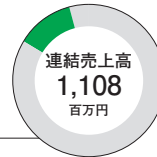
サイアム・メタル・テクノロジー社



品名 リアアクスルシャフト  
車種・ユニット  
ピックアップトラック リアアクスル

建機事業

国土開発に貢献するシンニッタンの仮設機材  
～安全性と作業性のさらなる向上へ～



仮設機材



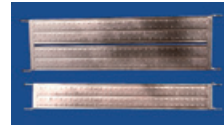
フライングステージ

(橋梁、高速道路、鉄道、物流倉庫等の改修工事、老朽化対策待ったなしの市場に安全な吊足場)



強力サポート

(解体する建物の床面が抜けるのを防ぐために高い荷重を保持できる強力なサポート)



踏 板

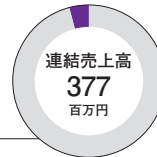
(足場の作業床として安全性、品質面で多くの顧客から優れた評価をいただいております。ニーズに合わせて3タイプをラインナップ)

仮設機材として・枠組足場・次世代足場・支保工材等における設計、製造、販売・リースを行っております。

さらに、ユーザーニーズの動向をたえず注視してより安全に、より省力化に役立つことをモットーに、営業・技術・生産の各部門が三位一体となって、次々と特色ある新製品の開発を進めています。

物流事業

輸送コスト、輸送効率、環境保全、安全性に貢献するシンニッタンの物流容器（スチールパレット）



スチール製物流容器のパイオニアとしてあらゆる社会課題にお客様と共に対応してまいりました。地球環境の共存共栄を図るため、自動車メーカー様にEV車向け電池用パレットをご採用いただいております。自社で開発、製造する強みを活かし、お困りごとを解決するスチール製物流容器を製造しております。いつの時代も必要不可欠な物流において、社会に必要とされる存在を目指し邁進してまいります。

物流機器

◇汎用パレット



組立状態 (MIN)

トラック輸送、コンテナ輸送双方にマッチしたリターンパレット



組立状態 (MAX)

使い勝手に合わせて伸縮自在オールマイティに使える優れた物



折畳み状態

折畳み保管できるので倉庫内スペースを有効活用

◇専用パレット



製品の品質保持に最適な物流容器を、オーダーメイドで製作するパレット

鍛造事業  
生産拠点

グループ各社の特色を活かし、多様な製品群でニーズに応えます

グループ全体の技術力・生産性の向上に向け、各社の連携を通じて、弛まぬ努力でさらなる事業基盤の強化に邁進しております。

高萩工場（茨城県高萩市）



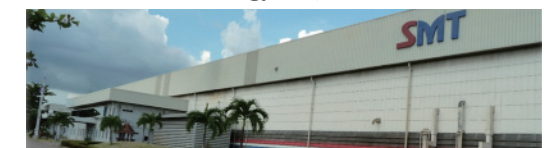
中部鍛工株式会社（愛知県新城市）



株式会社セイタン（新潟県南魚沼市）



Siam Metal Technology Co., Ltd. (THAILAND)



中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)	前連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	21,430,048	21,892,405
固定資産	15,986,113	16,979,279
有形固定資産	11,731,809	11,911,790
無形固定資産	84,660	98,594
投資その他の資産	4,169,643	4,968,894
資産合計	37,416,161	38,871,684
<b>負債の部</b>		
流動負債	8,788,252	9,659,206
固定負債	2,192,026	2,315,895
負債合計	10,980,278	11,975,101
<b>純資産の部</b>		
株主資本	22,152,902	22,673,561
資本金	7,256,723	7,256,723
資本剰余金	6,578,546	6,578,546
利益剰余金	15,704,147	16,230,155
自己株式	△7,386,514	△7,391,863
その他の包括利益累計額	4,052,128	4,004,220
その他有価証券評価差額金	1,510,742	2,056,842
為替換算調整勘定	2,541,386	1,947,378
非支配株主持分	230,851	218,799
純資産合計	26,435,882	26,896,582
負債純資産合計	37,416,161	38,871,684

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当中間連結会計期間 自 2024年4月 1日 至 2024年9月30日	前中間連結会計期間 自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日
売上高	9,196,059	11,142,153
売上原価	8,462,246	9,919,213
売上総利益	733,812	1,222,939
販売費及び一般管理費	889,336	927,111
営業利益又は営業損失(△)	△155,523	295,828
営業外収益	251,895	165,480
営業外費用	29,379	17,360
経常利益	66,992	443,948
特別利益	—	562,450
特別損失	58,985	26,703
税金等調整前中間純利益	8,006	979,695
法人税、住民税及び事業税	39,244	200,300
法人税等調整額	82,479	66,910
中間純利益又は中間純損失(△) (内訳)	△113,717	712,484
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△116,274	709,288
非支配株主に帰属する中間純利益	2,556	3,195

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当中間連結会計期間 自 2024年4月 1日 至 2024年9月30日	前中間連結会計期間 自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	866,225	1,519,194
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,126,241	△2,616,079
財務活動によるキャッシュ・フロー	△447,213	△1,130,103
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,264	137,046
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△702,964	△2,089,942
現金及び現金同等物の期首残高	4,479,555	7,467,817
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,776,590	5,377,875

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

社名	株式会社 シンニッタン
設立	1948年11月15日
資本金	72億5,672万円
事業の目的	1. 鍛工品、機械器具、物流機器及び諸工具の製造ならびに販売 2. 建設用機材、公害防止機器、住宅及び同関連機器の製造販売ならびに施工請負 3. 前各号機器類等の賃貸借 4. 土木建築工事ならびに鍛造、金属加工設備及びその付帯設備の設計管理ならびに施工請負 5. 前号に関連するプラント輸出ならびに技術指導 6. 不動産の売買、賃貸借ならびに仲介斡旋 7. 金融業 8. 電気の供給 9. 前各号に関連する一切の事業
従業員数	連結719名 単体209名

取締役 (2024年9月30日現在)

代表取締役社長	平山 泰行
常務取締役	長久保 眞治
取締役	川島 俊也
取締役	高橋 克夫
取締役	大井 進
社外取締役	森谷 弘史
社外取締役(常勤監査等委員)	加藤 尚久
社外取締役(監査等委員)	齊藤 健一
社外取締役(監査等委員)	辻 孝夫
社外取締役(監査等委員)	安藤 美佐

執行役員 (2024年9月30日現在)

執行役員	平岡 正実
執行役員	矢渡 作美
執行役員	千葉 健一

株式の状況

発行可能株式総数	115,000,000株
発行済株式の総数	55,000,000株
株主数	10,426名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東プレ(株)	2,585	6.94
日本製鉄(株)	2,577	6.92
日本パーカライジング(株)	1,878	5.04
㈱りそな銀行	1,836	4.93
㈱みずほ銀行	1,836	4.93
佐藤商事(株)	1,693	4.55
㈱NITTAN	1,359	3.65
日鉄物産(株)	1,200	3.22
東京海上日動火災保険(株)	1,125	3.02
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	971	2.61

(注) 1) 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
2) 当社は、自己株式17,751千株を所有しておりますが、上記大株主から除いております。  
3) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。但し、従業員インセンティブ・プラン「株式給付信託（J-E S O P）」制度に係る信託財産として、㈱日本カストディ銀行（信託E口）が所有している当社株式548千株については含めて計算しております。

株式分布状況

